

## 診療各科に信頼される縁の下の力持ち

放射線部は、放射線診断科、放射線治療科をはじめとする各科医師と協力し、診療科のニーズに従い、CT、MRI、PETなどの画像および血管造影・IVRなどを提供することで、診療に貢献しています。

### 診療体制

大きく画像診断、放射線治療、血管造影・IVR、RI診療の4部門に分かれており、放射線技師、放射線診断科・放射線治療科医師、中央診療部看護師を中心に、各科医師とも連携し、放射線診療業務を担当しています。

### 業務の特徴と実績

#### ■ 画像診断部

X線を用いた撮像業務をはじめ、MRI、超音波を含め700件近く施行しています。またMDCT、MRIの断層画像では高精度画像(3D image、仮想内視鏡、CT angiなど)も提供しています。

#### ■ 放射線治療部

通常の照射に加えて、ラジオサージェリー、定位放射線照射、強度変調放射線治療、腔内照射、全身照射などの最先端の照射を行っており、1日100件近くの放射線治療を行っています。

#### ■ 血管造影・IVR部

経皮的に低侵襲治療を行う血管造影・IVR部門の業務は1日12件を超えています。24時間体制で、ほぼ全身の血管造影・IVRに対応しています。

#### ■ 核医学部

PETによる脳疾患、心臓疾患、悪性腫瘍の診断を主に1日25件を超える画像診断業務をこなしています。また甲状腺疾患に対する放射性ヨード内服治療も月のべ70件程度行っています。



## 機能訓練から社会復帰援助まで

様々な疾患により身体・精神機能の低下した方々に対し、機能訓練から日常生活動作・職業能力改善・精神面の安定を目的に各専門性を活かし、患者の社会復帰に向けてリハビリテーションサービスを提供しています。

### 診療体制

入院患者さんと一部の疾患の外来を中心にリハ専任医、理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)、看護師でチームを組み、幅広い疾患に対してリハビリを展開しています。

### 対象疾患

脳血管疾患、骨関節疾患(リウマチなど)、神経筋疾患、呼吸疾患、心疾患、小児疾患(脳性麻痺など)、精神疾患(高次脳機能障害、広汎性発達障害)、各内科疾患や各外科術後(移植後など)のADL低下回復など。

### 診療、研究実績

#### 一般的な診療についての実績

年間実施件数は、理学療法58,343件、作業療法19,054件、言語聴覚10,059件。

#### 高度医療の取り組み・研究

##### ①理学療法部門

各種評価器(筋力測定器、筋電図、呼気ガス分析装置など)を用いた運動機能およびADLの定量的な評価を行い、治療の効果や検証を行っています。

##### ②作業療法部門

手の外科、高次脳機能障害を対象に専門プログラムを導入し、機能訓練から復学・就労支援までのリハビリシステムの構築を目指した研究・検討を行っています。

##### ③言語聴覚部門

耳鼻科・栄養科など他部門と協力のうえ、総合的な嚥下機能障害のアプローチを研究・検討を行っています。

